

大和高田市新庁舎建設事業設計・施工業務に係る公募型プロポーザルの 受託候補者選定結果について

大和高田市新庁舎建設事業設計・施工業務委託事業者選定プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）における慎重な審査の結果、大和高田市新庁舎建設事業設計・施工業務に係る受託候補者を、下記のとおり選定しました。

1. 受託候補者

- (1) 共同企業体名 戸田建設・安井建築設計事務所共同企業体
- (2) 代表企業の所在地 大阪市西区西本町1丁目13番47号
- (3) 代表企業名 戸田建設株式会社 大阪支店
- (4) 代表者職・氏名 常務執行役員支店長 光用 薫

2. 業務委託期間

契約締結の日から平成33年3月19日（金）まで

3. 選定の経過

- (1) 第1回審査委員会 平成30年 4月25日（水）
- (2) 公募手続の開始 平成30年 5月 1日（火）
- (3) 質疑書の提出期限 平成30年 5月11日（金）
- (4) 質疑への回答期限 平成30年 5月16日（水）
- (5) 参加表明書等の提出期限 平成30年 5月31日（木）
- (6) 1次審査結果の通知 平成30年 6月 4日（月）
- (7) 技術提案書の提出期限 平成30年 8月 3日（金）
- (8) 第2回審査委員会（公開プレゼンテーション及び質疑応答）
平成30年 8月11日（土）
- (9) 審査結果の通知 平成30年 8月17日（金）

4. 参加事業者数

2事業者

5. 選定方法

公募型プロポーザル方式

6. 選定方法及び審査結果

当該業務に係る公募型プロポーザル募集要項に基づいて、参加表明書及び技術提案書等の提出があった2事業者について、1次審査及び2次審査を実施しました。

1次審査では、参加表明時に提出された資料に基づいて、設計企業及び施工企業における

配置予定技術者の実績と設計受賞歴により事業者の技術力を審査し、2事業者ともに2次審査に進むことになりました。

2次審査では、提出された技術提案書に基づいて、業務計画提案内容、施設計画提案内容、施工計画提案内容、価格提案額、地域貢献提案内容、自由提案内容を審査し、総合計点が最も高い1.に掲げる事業者を受託候補者、次点の者を次点者に選定いたしました。

なお、公平かつ公正に審査するために、プロポーザル参加事業者の名称は伏せて審査委員会（公開プレゼンテーション及び質疑応答を含む。）を実施しました。

審査基準及び審査結果は、次のとおりです。

（１）１次審査基準

審査項目		配点
1. 企業体の技術力		
（１）配置予定技術者の同種又は類似施設の実績		90.0
【設計企業】		
① 設計業務管理技術者		10.0
② 建築設計主任技術者		5.0
③ 構造設計主任技術者		5.0
④ 電気設備設計主任技術者		5.0
⑤ 機械設備設計主任技術者		5.0
⑥ コスト管理主任技術者		5.0
⑦ 工事監理業務管理技術者		5.0
⑧ 建築工事監理主任技術者		10.0
⑨ 構造工事監理主任技術者		5.0
⑩ 電気設備工事監理主任技術者		5.0
⑪ 機械設備工事監理主任技術者		5.0
【建設企業】		
① 統括管理技術者		10.0
② 監理技術者		5.0
③ 施工計画主任技術者		5.0
④ コスト管理主任技術者		5.0
（２）設計受賞歴		10.0
1次審査 合計		100.0

（２）１次審査結果

受付番号	参加者名	参加資格	点数 (100点満点)
Y-1	戸田建設・安井建築設計事務所共同企業体	有	92.50
M-1	大和ハウス工業・梓設計共同企業体	有	98.75

※2者ともに1次選定者となり、2次審査に進む。

(3) 2次審査基準

評価項目		配点
1. 業務計画提案		30.0
(1) 業務の実施体制提案書 ① 本業務の実施方針 ② 基本設計から施工までを含めた業務の実施体制及び意思決定者や設計、施工の役割分担など ③ 別途発注するオフィス環境整備業務及び庁舎附帯施設整備業務との情報共有、内容確認など		10.0
(2) 設計業務の実施方針提案書 ① 具体的な設計業務の進め方 ② 要求水準を満たす設計品質確保に向けた企業体としてのチェック確認方法 ③ 要求水準を満たす設計品質確保を発注者と確認する方法 ④ 市民説明の頻度や市民の意見に対する技術的見解の提示など、市民や発注者との設計業務の進め方		10.0
(3) 業務工程計画提案書 ① 業務工程計画 ア 設計・施工の全事業スケジュール イ 主要マイルストーン ウ 市民説明、発注者による設計内容の確認・意思決定時期等 ② 業務工程管理計画 業務期間を確実に遵守するための設計・施工の工程管理手法		10.0
2. 施設計画提案		100.0
2.1 施設全体計画提案		80.0
(1) 建築計画提案書 ① 各機能の配置計画及び動線計画 ② 景観・外装計画及び内装計画 ③ 維持管理計画・ライフサイクルコストの縮減策		50.0
(2) 構造計画提案書 ① 構造計画概要及び仕様 ② 略伏図・略軸組図及び仮定断面		10.0
(3) 電気設備計画提案書 ① 電気設備計画概要及び仕様 ② 電気設備機器による騒音・振動対策 ③ 維持管理計画・ライフサイクルコストの縮減		10.0

	(4) 機械設備計画提案書 ① 機械設備計画概要及び仕様 ② 機械設備機器による騒音・振動対策 ③ 維持管理計画・ライフサイクルコストの縮減	10.0
	2.2 各機能計画	20.0
	(1) 将来の変化への柔軟性の確保を実現するための機能 ① 柔軟性・経済性 ② 省エネルギー・省資源 ③ 周辺環境・景観配慮	10.0
	(2) 非常時の業務継続性の確保を実現するための機能 ① 防災拠点としての機能 ② 危機管理対応 ③ セキュリティ対策	10.0
3. 施工計画提案		20.0
	(1) 施工品質管理提案書 施工品質を確保するための重点ポイント、方策及び管理手法	10.0
	(2) 総合施工計画提案書 近隣及び周辺環境に配慮した総合施工計画等	10.0
4. 価格提案		20.0
5. 地域貢献提案		10.0
	(1) 地域貢献 ① 大和高田市内の建設事業者の活用 ② 大和高田市内の建設資材の購入計画 ③ 大和高田市内の建設事業者以外の業種の活用方法	10.0
6. 自由提案		20.0
2次審査合計※		200.0

※2次審査合計は、委員1人当たりの点数。委員5人の総合計点は、1000点。

(4) 2次審査結果

受付番号	参加者名	総合計点 (1000点満点)	結果
Y-1	戸田建設・安井建築設計事務所共同企業体	775.5	受託候補者
M-1	大和ハウス工業・梓設計共同企業体	605.0	次点者

7. 各参加者の技術提案の講評

◎順位第1位 受託候補者（受付番号：Y-1 A者）

A者の提案は、建築計画、構造計画、防災計画の各側面において、よく検討された内容となっており、総合的に高く評価した。建築計画においては、「サクラホール」「市民サロン」「展望テラス」など、市民の拠り所となる場についてよく検討されており、人の動きが具体的に分かりやすく、イメー

ジしやすい内容であった。特に、多目的スペースとして提案された、「サクラホール」における結婚式やファッションショーなどの具体的なイベントの提案については、運営母体の確保という課題を残しつつも、空間活用の可能性を感じさせる点が高く評価できた。一方で、太陽光発電設備を3階屋上に設置することについては、検討の余地を残しているとの意見もあった。構造計画における精緻な検討がなされている点、防災計画における災害時の防災拠点としての積極的な機能の提案も評価した。

○順位第2位 次点者（受付番号：M-1 B者）

B者の提案は、「全体工期の4か月の短縮」「工事金額全体の約30%を地元の企業へ発注」など、プロジェクトマネジメントへの貢献、地域貢献への高い意識を持った内容で、高く評価できる。建築計画において、『杜の庁舎』という底部分に代表される積極的な緑化の提案については好感を持てるが、一方で、「大和高田市らしさ＝緑化」という一義的な捉え方や、植栽の選定及びその維持管理について疑問視する意見が出た。また、3階及び4階屋上に計画された、市民への開放スペースとなる「サクラテラス」が、市民サービスを行わない執務エリアに隣接することに、利用者動線が詰め切れていないとする意見も出た。

全体として、今回のプロポーザルに参加した2者とも、1次審査において業務を実施するに十分な実績と業務体制を有していると評価された。2次審査における技術提案についても、各社独自の視点で提案が盛り込まれており、要求水準以上の優れた提案がなされていると評価した。

最後になりますが、優れた内容の独自の提案を作成された各参加者の熱意と尽力について、心より感謝申し上げます。受託候補者におかれましては、提案書にもうたわれていたように、市民の意見をより多く取り入れ、“市民目線”に立った設計・施工を行われることを希望します。そして、“大和高田市の新たな誇り”“まちの核”となる新庁舎を実現すべく、今後の設計・施工業務全般にわたり、大和高田市と協議を進められることを期待します。

大和高田市新庁舎建設事業設計・施工業務
委託事業者選定プロポーザル審査委員会
委員長 三井田 康記

8. 審査委員

委員会 役職	所属等	氏名
委員長	畿央大学 健康科学部 人間環境デザイン学科 教授	三井田 康記
副委員長	近畿大学 建築学部 建築学科 教授	鈴木 毅
委員	奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科 准教授	瀧野 敦夫
委員	畿央大学 健康科学部 人間環境デザイン学科 助教	清水 裕子
委員	元農林水産省職員	梅田 全克